

日常生活の中で、「敬語」について悩む場面はまだそれほど多くないかもしれない。しかしいったん社会に出れば、「言葉づかい」は身なりと同じくらいにあなたの印象を左右するものとなる。早いうちに敬語の知識を身につけ、適切に使いこなせるようになるろう。(↓表紙裏「正しい敬語表現を身につけよう」)



\*敬語の種類

- ・尊敬語 話している相手や話題になっている人を敬う。  
例) どちらになさいますか。  
先生がいらつしやる。
- ・謙讓語 自分(や自分の身内)の動作について謙遜して言うことで、その動作の受け手を敬う。  
例) お料理をおいしくいただく。  
今からそちらに参ります。
- ・丁寧語 聞き手や読み手に対して、普通より丁寧に表現する。  
例) では、試合を始めます。  
店長の上田でございます。

2 次の空欄に適切な語を補い、表を完成させよ。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
普通の表現	与える	言う	行く	いる	聞く	来る	知る	する	食べる	見る
尊敬表現	くださる・たまわる	おっしゃる・のたまう		いらつしやる・おいでになる				なさる・あそばす		
謙讓表現			参る・伺う			参る			いただく	拝見する

- 1 次の——線部の敬語表現の種類をそれぞれ後から選び、記号で答えよ。
- 私はこの町の出身です。( )
  - 先生が私たちの発表をお聞きになる。( )
  - そちらはたいへん人気のある商品でございます。( )
  - 明日、著名な教授が講演をなさる。( )
  - すぐにご用意いたしますので、少々お待ちください。( )
- ア 尊敬表現    イ 謙讓表現    ウ 丁寧表現

3 次の——線部を、例にならって丁寧表現に改めよ。

- 例) 先生に手紙を書く。(書きまます)
- 日頃から災害に備えるべきだと思います。( )
  - すぐにアンケートが実施された。( )
  - 私の兄はスポーツが好きだ。( )

5 次の——線部を、例にならって謙讓表現に改めよ。

- 例) 先生を待つ。(お待ちする)
- 展示されている先輩の作品を見る。( )
  - すぐにそちらへ行きます。( )
  - 課長に昨日の新聞記事を見せた。( )
  - 顧問の先生から旅行のお土産をもらった。( )
  - 先方の返事を上司に伝えた。( )

対応する謙讓語(「いただく」「申し上げる」など)があれば置き換える。ない場合は、「お／ご+動詞の連用形+する／いたす」などの形で敬意を表す。  
\*「いたす」はやや古風な言い方。

6 次の——線部の敬語の使い方のうち、正しいもの一つを選び、記号を○で囲め。

- ア お客様が参られました。  
イ あちらの窓口でお聞きください。  
ウ 父は今年で五〇歳になられます。  
エ 私は明日、お休みになるつもりです。

- 4 次の——線部を、例にならって尊敬表現に改めよ。
- 例) 先生が教室に入る。(お入りになる)
- どうぞ食べてください。( )
  - あなたの言うとおりです。( )
  - 上司はいつもその席に座る。( )
  - 先輩が練習方法を教えてくれた。( )
  - 今週はお客様がたくさん来た。( )
- 対応する尊敬語(「おっしゃる」「いらつしやる」など)があれば置き換える。ない場合は、「お／ご+動詞の連用形+になる／なさる」の形で敬意を表す。